

宮崎県北地区 特集2021

ひむかの地から 挑む

域内の売り上げ倍増へ 宮崎県工業会東北地区部会の取り組み

県北地区部会 各分科会の取り組み

2016年、延岡市は「10年後の域内の売り上げ倍増」を掲げた「工業振興ビジョン」を策定した。この実現に向けて大きな役割を担うのが、宮崎県工業会東北地区部会（吉玉典生地区部会長—吉玉精鍍社長）の活動だ。ビジョンの達成に向けて三つの分科会を設置。若手経営者らが中心となり、議論を重ねている。

県北地区部会長に聞く



吉玉 典生氏
(吉玉精鍍 社長)

デジタル化で求められる能力の質が変化

基本的人間教育も重要課題

「北地域の製造業に対する新型コロナウイルスの影響は、『会員企業からは忙しいという声も多く、売り上げへの直接的な影響は少なかつたのではないか。』一時期自動車産業などの減産もあつたが、地場中核企業でのメンテナンスも行われており、全国から作業関係者が来ているようだ」
「新型コロナウイルスによる経営の変化は、『日本においては、これまで培ってきた会社の仕組みがしっかりとっていたので、『デジタル化の必要はない』と、その取り組みに消極的な企業も多かったが、今後は不可欠だ」
「当社を例に取ると、社内の人材育成のメンバーが先生役になって、社員が先生になって、当初IoT（モノのインターネット）に懐疑的だった現場の社員も、徐々に知識レベルが上がってきた。今では小さなラインの自動化を自分たちでやろうとしている」
「地域の将来をどう展望していますか」
「中核企業を軸に、モノづくりは宮崎県北地域の中心的な産業基盤であること、を継続していくと思つて。一方、デジタル化の進展により、技術者や技能者に求められる能力の質が変わつてくるのでは。例えばDX（デジタル変革）分野のプログラミングやメンテナンスをする人材が求められる。UI/UXにも力を入れていく必要がある。更に、誠実に仕事に取り組む姿勢などの基本的人間教育も重要な課題だと思つて」

■新事業・販路開拓分科会

- ①第3回東九州ものづくり交流展の企画・実施（22年2月24・25日開催）
- ②次世代リーダー育成塾「こころざし」が主体となる「全国若手ものづくりシンポジウム」の延岡開催（11月12日）において、若手経営者のネットワーク拡大や異業種交流の機会づくりの支援を行う



甲斐 稔 委員長

展は宮崎県北地区の企業と、佐伯市など大分県南部の企業との交流事業。両地域あわせて40社ほどが参加予定だ。

■事業構造改革・企業体質強化分科会

- ①自社課題を克服するためのICT（情報通信技術）ツールの活用
- ②改善活動の推進と普及
- ③管理者や次世代リーダーなどに向けたセミナーの開催
- ④企業視察の開催



稲田 健 委員長

「宮崎県は労働人口が減少している。工業系企業が生き残るためには事業構造を見直し、企業体質を強化する必要がある」と稲田委員長は強調する。コロナ禍も影響して地域内の企業の意識が高まっているという。

■人材育成分科会

- ①保護者向け企業説明会など産学官が連携しての産業教育を実施
- ②地元就職率の向上と離職率の低下を図るため、関係機関協力のもと、地域が一体となった集合教育を企画
- ③産業教育を包括的に推進する組織と仕組み作りを推進
- ④マイスター・ハイスクール事業において産学官連携のもとで産業界と高等学校が連携したカリキュラムを実施



島原 俊英 委員長

新たな実習カリキュラムの開発を目指す。またインターンシップのあり方についても「これまでは実習体験という部分に重きを置いていたが、今後は課題を設定し、それを解決するところまで」（島原委員長）というように、より実践的なキャリア教育プログラムの構築が進められる。

新型コロナウイルスの影響で活動が限られる中、全国若手ものづくりシンポジウムは1年の延期を経てオンラインでの開催となった。新型コロナやDXへの対応を中心に、活発な意見交換が行われた。

「2年ぶりの開催となる『東九州ものづくり交流展』（9年開催時）の一環として来場してもらえよう、呼びかけているという。

甲斐委員長は「脱炭素や、それに伴うエネルギー戦略の転換などをきっかけに新たなビジネスチャンスが生み出れるのではないかと。中小企業としてどう対応していくかが今後の軸になる」と、継続的な活動に意欲を見せている。

「生産性の向上を切り口に、さらなる成長を各企業に促している。これまでの5年間は『改善インストラクタースキル』と連携した活動を重ねるとともに、企業体質の強化に向けて『中小企業でも中長期経営計画書の作成を』と呼びかけてきた。

「ICTツールの活用だ。実際に稲田委員長が経営する会社では、製造現場にタブレット端末を導入し、これまで紙ベースだったものを携帯端末で入力するようになった。従来は作業日報に記入したものを再度手作業で集計していたが、自動でデータ集計や原価計算ができるようになった。

「コロナが落ち着けばICTの活用やDXに取り組みして、中小企業の取り組み事例を見学したい」と心待ちにしている。

文部科学省が進める「マイスター・ハイスクール（次世代地域産業人材育成刷新事業）」は成長産業に対応するため、最先端の職業人育成システムの構築を目的とする。宮崎県北地区では延岡工業高校の機械科が舞台となり、今後5年間をかけてICTを活用したモノづくりに重きを置いた産学官が一体となった人づくりが進められている。

「小さな時から地元で働く大人の姿を見て憧れを持つてもらい、工業高校に入ってもらえるように」と島原委員長。その道筋を作るために、行政と学校、産業界が一体となった活動が続いている。



2年ぶりの開催となる「東九州ものづくり交流展」（9年開催時）の一環として来場してもらえよう、呼びかけているという。



タブレット端末などのICTツールの活用で企業体質を強化



産学官が一体となった人づくりが進められている

株式会社 中園工業所
部品一つひとつの完成度が組み上がった製品の信頼度につながる事を我々は熟知しています
FPD製造装置・半導体製造装置その他、産業用装置全般の部品加工から装置組立までを一貫受注致します

ものづくりのサポート
SOLIDWORKS 3D-CAD-CAM-CAE (3次元設計解析支援システム)
宮崎県機械技術センター

向陽プラントサービス株式会社
代表取締役社長 在原 利行
誠実に、着実に、そしてスピーディーに、お客様の信頼にお応えします。

延岡商工会議所
あなたの「創業の夢」を応援します！
商工会議所は経営のよきパートナーです。

宮安電機株式会社
代表取締役 井上 透
【営業品目】 制御機器・メカトロ機器・情報機器・空調機器・産業用ロボット 電気機器・省力化システム・非常用電源装置・メンテナンス

興電舎
代表取締役 甲斐 稔 康
株式会社興電舎
本社 宮崎県延岡市浜町222番地1

株式会社花びし
速く、確かに、心をこめて
The technologies to the future
株式会社花菱塗装技研工業

吉玉精鍍株式会社
Yoshitama Surface Finishing Co., Ltd
~世界一頼りがいのあるめっき屋を目指す~

日刊工業新聞社は 宮崎のモノづくりを応援します

宮崎支店 宮崎県延岡市大分市大字赤熊 243番地 2
日南支店 宮崎県日南市大字平野 1120番地 19
大分支店 大分市三佐 6丁目2番 68号
大分支店 大分市久原北 6番 25号
福岡支店 福岡市博多区井田 2丁目10番 28号
北部九州営業所 福岡県豊前市大字赤熊 243番地 2

株式会社花菱塗装技研工業
〒882-0024 宮崎県延岡市大武町39番地70
TEL(0982)34-8228 FAX(0982)21-5190
新富支店 〒889-1403 宮崎県児湯郡新富町大字上田田字井ノ前2370
TEL(0983)33-5515 FAX(0983)33-5525
http://www.hanabisi.co.jp/

延岡市中央通3丁目5-1(延岡商工会館2階)
TEL 0982-33-6666
http://www.yoshitama.co.jp